

能古島で高齢者らと交流

高砂部屋の3力士、特養訪れ

大勢のお年寄りらが高砂部屋の力士との交流を楽しんだ。福岡市西区能古



大相撲九州場所を終えた高砂部屋の力士が27日、福岡市西区の能古島にある特別養護老人ホーム「能古清和園」を訪れ、入所者や島の子どもらと交流した。

外出の機会が少ないお年寄りらに楽しいひとときを届ける「ゆうゆうピクト」（朝日新聞厚生文化事業団主催）の一環。この日は約150人を前に、幕下の朝志雄さんと朝興貴さ

ん、三段目の朝乃丈さんの3人が相撲の多彩な決まり手を実演。職員や園児らが力士に挑む恒例の「取組」では、大きな拍手と笑いが起きた。

最後に朝志雄さんが作った高砂部屋特製のちゃんこ鍋が振る舞われた。入所者の永石ササ子さん（85）は「楽しませてもらい、ありがたかった」と話した。